

令和7年2月26日  
文部科学省  
第3回消費者教育推進委員会説明資料

大学生と市民が「学び合う」ことで実現する地域・世代を包摂する消費者教育モデルの展開と再構築  
－成年年齢引き下げや社会のデジタル化に伴う啓発／学習活動を通して－

奈良国立大学機構（奈良女子大学）

研究院生活環境科学系教授 大塚 浩

# 1. 兵庫県立消費生活総合センターおよびキューピー神戸工場訪問



- ▶ 10月1日 兵庫県立消費生活総合センター、キューピー神戸工場見学

本学学生による消費者啓発活動グループによる活動に際し、この分野でも先進県である兵庫県の各種取り組みを学ぶ。施設見学のほか、地域での子どもや高齢者への啓発の取り組み事例や、教材として用いられているコンテンツなどについて、センターの「担い手養成講座」の内容を中心にレクチャーを受け、今後の活動への学びを得た。また、PIO-NET等から得られる最新の各種消費者被害の状況等についても確認し、他機関や市民との連携の具体的事例についても情報を得る。工場見学を通じて食の安全についての情報発信や企業との連携のあり方について考察するための情報も得た。



## 2. 行政との連携 I : 奈良県主催イベントへの参加

奈良県消費生活フェア 8月3日  
@イオンモール大和郡山

子どもたち対象に紙芝居を演じて、買い物に関する基本の知識を楽しく学んでもらった。



### 3. 啓発すごろくの改訂

・クイズのマスでのカードを入れ替えることで、対象者に合わせた汎用性を持たせている。

Ex. 高齢者、小学生、高校生・・・

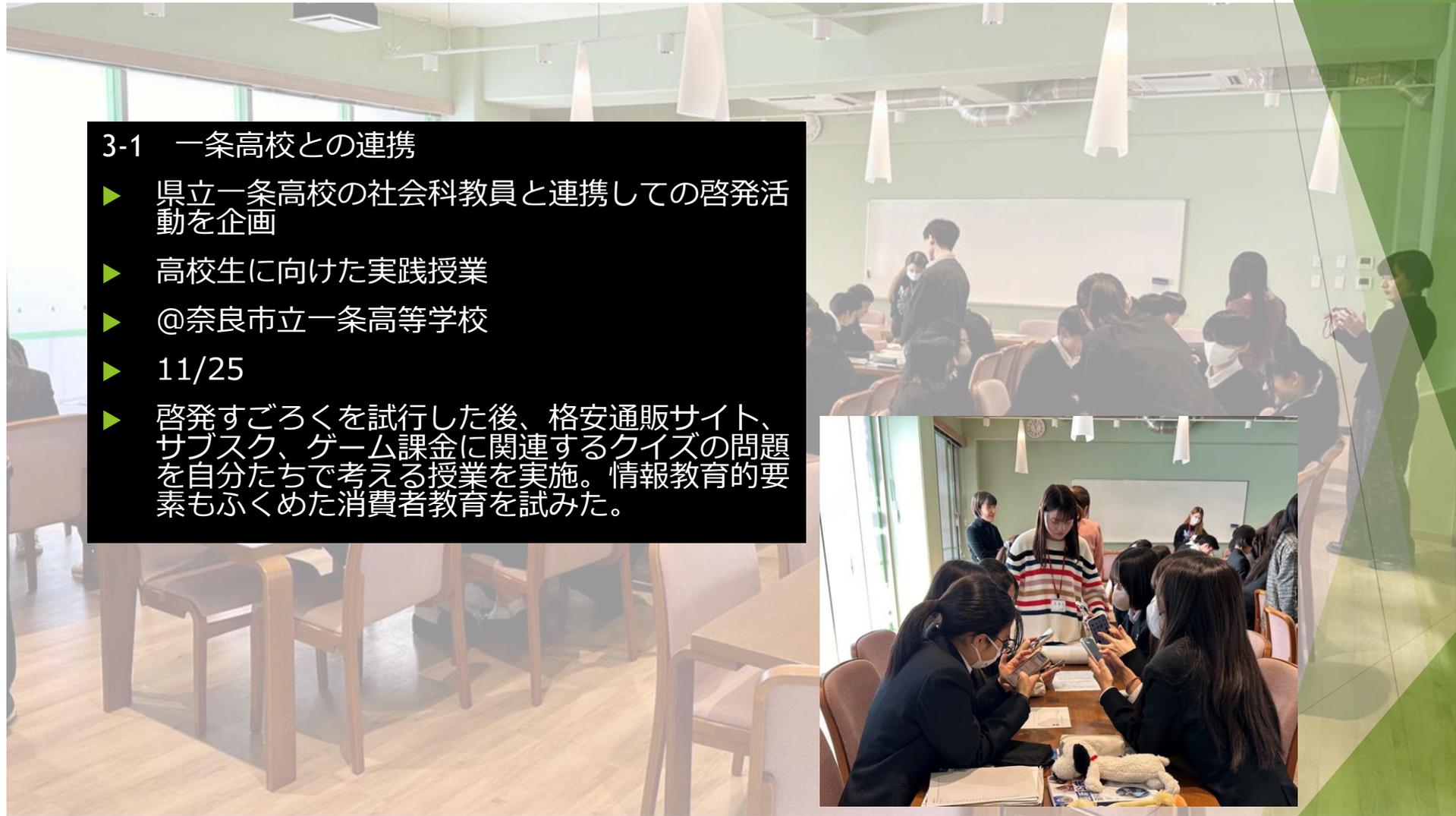
・クイズに情報端末を経由するトラブルを追加。個人情報の扱い方、SNSの使い方、詐欺的なメッセージ・メールの見分け方など、消費者教育と情報教育双方にかかわるものを重点的に。



## 4. 学校との連携

### 3-1 一条高校との連携

- ▶ 県立一条高校の社会科教員と連携しての啓発活動を企画
- ▶ 高校生に向けた実践授業
- ▶ @奈良市立一条高等学校
- ▶ 11/25
- ▶ 啓発すごろくを試行した後、格安通販サイト、サブスク、ゲーム課金に関連するクイズの問題を自分たちで考える授業を実施。情報教育的要素もふくめた消費者教育を試みた。



## 5. 行政との連携Ⅱ

12月13日 大和郡山市南部公民館  
「ふれあい学級」 参加約30人  
12月20日 大和郡山市老人福祉セ  
ンター「高年者教養大学」 参加  
約60人



## 6. 奈良県消費生活センターとの連携



地域放送局「ならどっとFM」への出演

ひるなら784「ライフチャンネル」  
(15分程度の情報番組) にBEACSが消費生活センター所長と出演(12月18日)。BEACSのこれまでの活動内容を紹介。

# 7. 企業・地域との連携：下市町・KITOでの講座実施

Forest Market KITOでの地域住民への消費者啓発講座（2月16日）

- ▶ 吉野郡下市町：人口約4000人。主要産業は林業・割箸生産。義経千本桜「すし屋」の舞台

- ▶ KITO訪問客に呼び掛け、啓発すぐろくで学んだあと、スマホの使い方とSNS、ネットショッピングのトラブルについてのミニ講義に参加をもらった。

参加者数：25名 就学前児童から60代まで親子連れ中心



# 今後の予定

- ①実施が遅れている放送大学での講座を3/2に予定。
- ②双方向的に生徒が完成させる学校向け啓発リーフレット（デジタル版）の製作
- ③デジタルまたはアナログの消費者啓発ゲームを大学・高校などで制作し、成果物のコンテストを地域で実施



消費者-情報教育モデルのさらなる展開へ。